

いっしょにあそぼ！！

- 日 時 平成 24 年 10 月 20 日（土）AM10：00～11：30
- 会 場 山形市総合福祉センター 1 階 体育ホール
- 参加数 親子 4 7 組
- 対 象 3 歳以下の子どもとその家庭
- 参加費 無料
- 目 的 現在家庭的保育を行っている保育者が、子どもと一緒に遊びながら触れ合う場を設け、家庭的保育を利用していない子どもとその保護者・家庭を対象として保育室の様子や保育内容等を紹介するとともに家庭的保育を伝える。

事前申し込みでは、定員の 30 組には届かず少し心配しましたが、当日参加いただいた方も多く、会場は大賑わいでした。

参加いただいたお母さんたちからは、「保育所や幼稚園とは違った家庭的保育の良さが感じられた」との声も聞かれました。

（担当：山本、佐藤）



パネル展示コーナー

17 名の家庭的保育者が模造紙に写真を貼って日々の保育の様子を見てわかりやすいように紹介しました。足を止めてじっくり見ている姿が印象的でした。



いないいないばあ

子どもたちに大人気のアンパンマンだったので、わかりやすく楽しく製作することができました。また、親子の会話が弾み、シールを自由に使って個性的な作品ができていました。

(担当:金子)



シャカシャカシート

いちご、もも、くり三種類のうちから好きな果物を選んで楽しみながら作ることができ、完成した物を見て、「かわいい」と喜んでいました。小さい子はシャカシャカという音を楽しめ、3歳くらいの子はおままごと遊びに使ったという声も聞かれました。終始楽しい雰囲気のコーナーでした。

(担当：高橋、伊藤)



手作り粘土遊び

好きな色の粘土を選んでもらい、粘土の感触を楽しみ、型押しを使って作りたい物が自由に作れたので満足していました。保育所や幼稚園で使っている粘土より手触りが良く、年齢の低い子でも、扱いやすく、喜ばれました。粘土の作り方を教えて欲しいという方には、準備していた粘土の作り方の説明書を渡しました。

(担当:高橋ひ)



手作りおもちゃで遊ぼう

日頃、保育の中で実際に使って遊んでいる手作りおもちゃであり、子どもたちも夢中になって遊んでいました。保護者からはペットボトルやラップの芯など、素晴らしいおもちゃになるのだなぁと感心された声が多く聞かれました。予想以上に多くの人たちに参加して頂き、とても盛り上がりました。

(担当:小番)



布おもちゃで遊ぼう

手作りの布おもちゃを並べ、自由に触ったり、遊んだりしてもらいました。手触りも柔らかく、面白いものが多かったので中盤からは絶え間なく、出入りがありました。特に魚釣りや、動物が食べ物を食べるのが人気でした。

(担当:工藤)



ボールプール

ビニールプールの中に、ボールやビーチボール、新聞紙を破いたものを入れて子ども達に新聞紙をかけたリ、破いたりして楽しんでいる様子でした。まだ歩けない赤ちゃんもプールの中に入って雰囲気を楽しみ喜んでいました。

(担当:山口、深澤、富田)



赤ちゃんヨガコーナー

赤ちゃんヨガの先生をお呼びして、「おべんとうばこ」の歌に合わせ子ども達の体のマッサージを行いました。(10:00~10:30、11:00~11:20 の 2 回実施)笑い声が多く聞こえ、楽しんでいる様子が見られ、保護者の方からも楽しかったとの声が多く寄せられました。

(担当:山崎)



「いっしょにあそぼ！」を開催して

山形では、まだまだ知名度の低い家庭的保育を、一人でも多くの人に知ってもらうために開催したイベントです。17名の家庭的保育者みんなが、力を出し合いやり遂げることができました。

今回初めて家庭的保育者に触れたお母さんが多く、私たちの活動をPRする良い機会になりました。来年以降も継続して開催し、家庭的保育をPRしていきたいと思ひます。

(佐藤)

